



## 4 JR/京成稻毛地区

### ■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点		
面積（促進地区）	185.0ha		
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 稲毛駅	101,356人（平成30年度）	
	京成稻毛駅	7,064人（平成30年度）	
バス便数	JR 稲毛駅東口	789（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）	
	JR 稲毛駅西口	530（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）	
	京成稻毛駅	49（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）	
生活関連施設数	21施設		
生活関連経路延長	約5,490m		
500m圏人口	12,749人	※JR 稲毛駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)	
500m圏高齢者数	2,180人		
500m圏高齢化率	17%		
従前の基本構想からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大</li> <li>・京成稻毛駅、稻毛公民館（稻毛公園）を含むよう地区拡大</li> <li>・穴川駅を含むよう地区拡大</li> </ul>		

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

### ■地区の特徴と課題

JR/京成稻毛地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも多く、高齢化率の低い地区です。駅から500m程度の範囲内に、病院や福祉施設、大規模店舗が集積しています。また、駅から1km以上離れた場所に稻毛区役所をはじめ公共施設が集積しています。

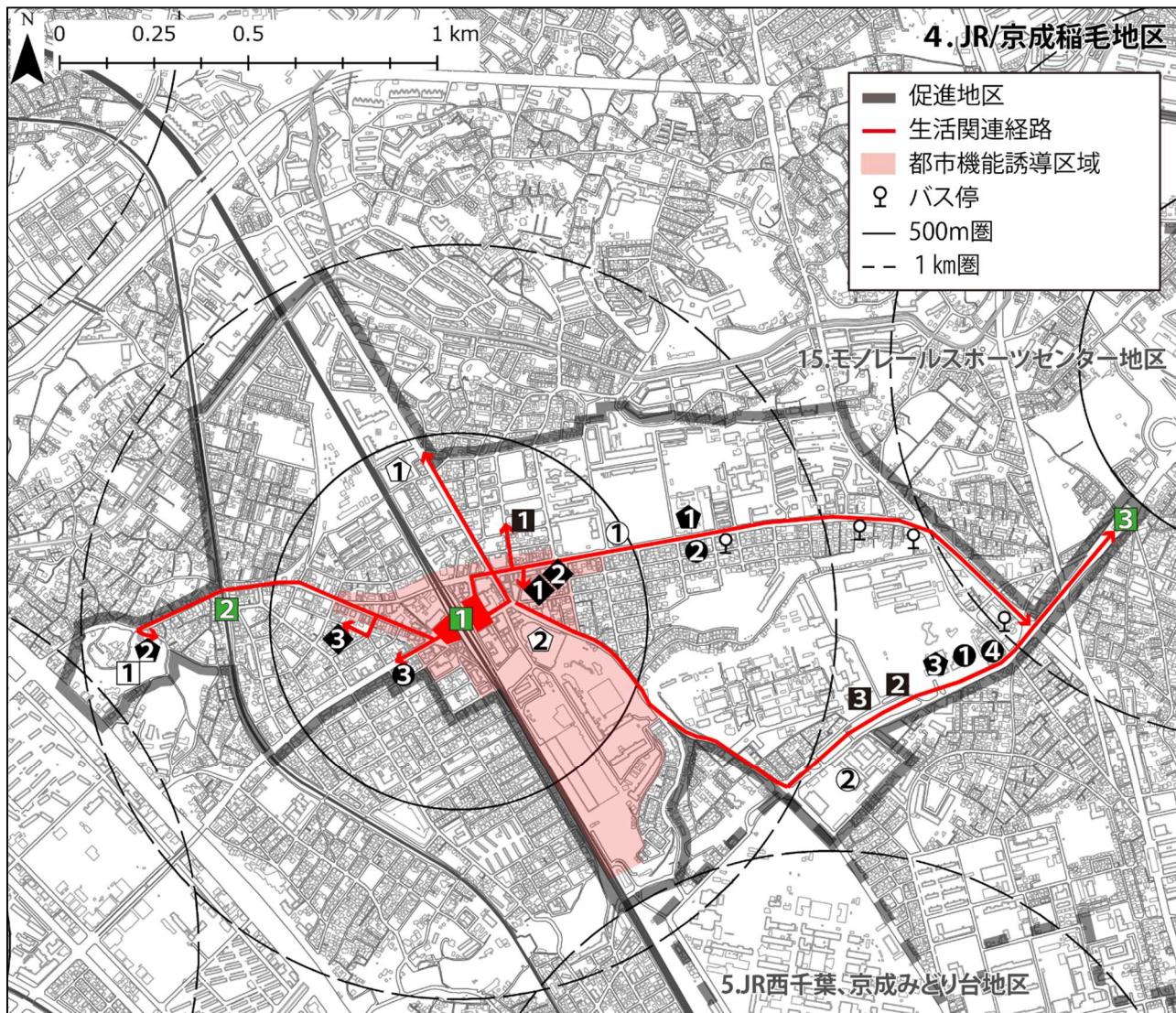
駅周辺の主な土地利用は住宅であり、JR 稲毛駅の南東側に設定されている都市機能誘導区域内の大規模倉庫跡地周辺では、市街地再開発事業に向けた検討が進んでいます。

JR 稲毛駅は乗降客数が多い駅です。バス便数もJR 千葉駅に次いで多く、駅西側は稻毛海岸駅方面へ、駅東側は稻毛区役所方面へのアクセスが充実しています。東口駅前広場は再整備に向けた検討が行われています。

稻毛区役所方面へはバス利用が多いことが想定されるため、区役所付近のバス停の利便性向上やわかりやすい案内誘導が求められます。また、JR 稲毛駅と京成稻毛駅間を結ぶ道路は歩道がなく交通量も多いため、歩行環境の改善が求められます。

### ■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称	種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 稲毛駅	保健施設 ・病院	1	稻毛病院
	2	京成稻毛駅		2	稻毛保健福祉センター
	3	モノレール穴川駅		3	独立行政法人 放射線医学総合研究所
公共施設	1	稻毛区役所 ※1	文化・教養 ・教育施設	1	稻毛図書館
	2	千葉小仲台郵便局		2	敬愛大学
	3	稻毛駅前郵便局	大規模 店舗	1	マルエツ稻毛店
	4	稻毛市税出張所 ※1		2	イオン稻毛店
集会施設	1	小中台公民館	都市公園	1	稻毛公園
	2	稻毛公民館			
	3	穴川コミュニティセンター			
福祉施設	1	子育てひろば・いなげ (稻毛保育園内)			
	2	千葉市あんしんケアセンター小仲台			
	3	千葉市あんしんケアセンター稻毛			

※は同一建物内



JR 稲毛駅駅前広場